

地本申9号 組合員の声に基づく **5月11日** 総合労働条件改善の実現を求める申し入れ!!

団体交渉日決定!! **6月8日(水)10時~**

秋田地本は5月11日「組合員の声に基づく総合労働条件改善の実現を求める申し入れ」を提出しました。

社会環境の変化に対応するため「変革2027」の実現に向けて多くの組合員が奮闘しています。また、新型コロナウイルス感染症により鉄道利用が落ち込み、変革のスピードアップが求められる中、コストダウンや増収の取り組みを積極的に担っています。一方で、労働条件の向上や職場環境の改善を組合員が実感していないことから、組合員からは多くの要求が出されました。

その組合員から集約された多くの声を基に、制度に関する課題などについては本部・本社間で議論されました。申9号では特に職場の労働環境の改善を中心に、新 JINJRE システム導入における課題についてもしっかりと会社と議論し働きやすい職場を実現させていきます。

【申し入れ内容】

1. 新 JINJRE システムについての説明を再度実施すること。
2. 横手統括センター（旧横手運輸区）に冷蔵庫を増設すること。
3. 田沢湖駅乗務員休養管理室は湿気がひどく、衛生的ではないため対策を講じること。また、ダニ、ゴキブリ等の害虫対策を講じること。
4. 深浦駅乗務員休養管理室は隙間風がひどいことと、トイレや休憩室のドアを開閉する際の音により寝れないため、対策を講じること。
5. 青森駅乗務員休憩室はホームから離れており、異常時でも乗務員が出場しやすいよう、ホームに乗務員が待機できる場所を新設すること。

**組合員の声!!働きやすい職場環境を
つくり上げるために、団体交渉にのぞみます!!**